「北海道多文化共生アワード」について

事業の概要

本道在住の外国人と道民がともに地域の発展や活性化に貢献することができる多文化共生社会実現のため、人材育成、居住環境、防災、教育、地域づくりなどさまざまな分野において、顕著な成果が認められる取り組みを進めている者を顕彰し、以って、今後の多文化共生の推進を図る。

◆ 対　象

外国人の多様な文化を理解、尊重し、生活・文化・スポーツ・芸術の交流などを通じて、豊かで活力にあふれた地域社会を築くことを目的とし、道内で活動している個人又は団体

（例）外国籍の子どもに対する教育支援、日本語学習支援、医療、福祉支援、労働支援（就職支援講座等）、災害時対策支援、地域活動への参画支援、住民への意識啓発など

◆ 応　募

ホームページ等において、道内各地域から自薦・他薦を問わず広く募集

（平成30年度は、7月20日から9月28日）

◆ 選　考

外部の有識者などで構成される選考委員会の意見を聴取の上、決定。受賞者は優秀賞２名以内

◆ 表　彰

受賞者には、正賞（賞状及び盾）ならびに副賞（10万円）を贈呈

また、季刊誌「北方圏」並びにHIECCホームページにおいて、活動内容等を掲載の上、広く全道に周知

受賞団体の紹介

◆ 北海道国際女性協会（所在地：札幌市）

設 立：1975年4月　　会 長：渡辺 里代子

【活動の種類】日本語学習支援

【活動概要等】「HIWA 日本語教室『まなぶ』」

1994年、在住外国人に有意義な札幌生活を送ってもらうことを目的に日本語指導を通じ、様々なお手伝いを開始。当初、学習者の自宅でマンツーマンの指導を行っていたが、学習者の増加に伴いグループレッスンも開始。その後、入門コース、初・中・上級など学習者のレベルにきめ細かく対応。日本語能力試験受験希望者にも対策講座を設ける。

訪問指導では、生活支援も兼ね、学習者が病気や出産の際には、病院への付き添いや、ベビー用品を揃えたりと女性ならではの活動ぶり。

評価のポイント

在住外国人への日本語学習指導は、外国人が日本で滞在するために必要なコミュニケーションツールの習得に大きな役割を果たしており、まさに多文化共生を推し進める重要な活動の一つである。

また、日本語学習指導だけではなく、病院への同行、学習者が出産の際にはベビー用品をそろえるなどの生活支援活動も多文化共生社会の実現に向け、大きな貢献がなされている。

◆ NPO法人 石狩国際交流協会（所在地：石狩市）

設 立：2002年2月　　会 長：星　正明

【活動の種類】地域活動への参画支援、住民への意識啓発

【活動概要等】「ワールドフェスティバルin石狩」

石狩の子どもたちが気軽に異文化に接し、国際理解を深めてもらうことを目的に、石狩在住のALT（言語指導助手）が中心となり、道内の外国人へ呼びかけ、同協会の主催事業としてスタート。2008年までは子どもたちを中心に対象としたが、その後拡大し、市内の在住外国人をはじめ留学生やJICA研修員なども参加。また子どもから大人まで対象を拡大（今年で16回了）

着物気付体験、折り紙、書道等で外国人が日本の文化にふれる機会などを提供。今年は20カ国100名の外国人、500名の市民が参加。

評価のポイント

多文化共生推進の重要な視点である「異文化相互理解」、「地域との繋がり」を持つ事業であり、本事業を開催するにあたり、地域で暮らす日本人及び外国人住民の双方が参加することで、地域における多文化共生促進の環境づくりに貢献している。

また、参加者が限定的ではなく、開催を重ねるたびに地域内外からの参加者が増加していることが好材料な事業。

主 催：公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター